

私の家庭の現在と未来

私たちは、家庭を一番大切にしておりますが、一番悩みが多いのも家庭になるのです。皆様の家庭はお元気でしょうか？子供の学力はどこの地域が高いのでしょうか？それは日本海側の地域になります。そこは3代共に生活している家庭が多いからです。幸せとは何でしょうか？私たちは西洋的なものを求めてきました。食べ物も家庭も西洋的なものを求めてきました。しかし、限界が来ているように思うのです。東洋からその限界を突破する道を見出す必要があります。結果ばかりではなく原因を究明することが必要なのです。そこで西洋国家もは東洋の事を学び始めています。このように家族と共に過ごすこと、それが精神的に安定するわけであり、早くに親元から離れてしまうと精神的に不安定になるのかもしれませんが。それでも東洋のよさを求めずに西洋を求めてしまっている現実があるのです。私たちが受けている祝福というものは東洋的なものであるということも出来るのです。そこで結婚とはするしないを選択するものではありません。若者たちは軽く見ています。神様の理想を実現する雄一の道が結婚なのです。結婚によって私の位置が決まります。私が夫という位置に、妻という位置に立つことが出来るのです。この世の結婚は似ている人を探しますが、神様の目は反対の人を探すのです。そして調和するのです。位置と同時に関係が決まるのです。結婚こそが神様の福を受けるのです。家庭の平和があり国家間の平和があり世界の平和があるのです。

愛するという事は全てを受け入れることです。嫌なものまでも全て受け入れることが愛なのです。その背後の歴史、文化までも受け入れることが結婚であり祝福なのです。まさに全ての恨みまでもが溶けていく道がこの祝福なのです。為に生きる道です。簡単に使ってはいますが、簡単なことではありません。

アダムとエバは愛していましたが、縦的なものを無視した横的な愛であったため、エデンの園を追い出されてしまいました。縦を否定する横的な愛は成立しません。私たちもこのことを忘れてはいけません。夫婦の愛とは相手の親、先祖をも愛する事によりつながっていくのです。過去と未来がつながる道です。そして子供につながる道なのです。それが家庭が元気になる道です。教会も大きな家庭です。教会が元気になってこそ、運勢が皆様にも連結されます。ともに元気な家庭に成る事を祈願申し上げます。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 【50日精誠期間について】

基元節2周年を迎えるまで50日精誠期間
(2015年1月12日～3月2日)を取り組んでまいります。

3. 基元節2周年精誠訓読40日路程

基元節2周年を迎えるまでの40日間、神氏族的メシヤに対する真の父母様の願いを確認し、責任完遂の勝利的歩みを成すために出版された新しい御言で、訓読の精誠を捧ます。
期間:2015年1月22日～2015年3月2日(40日間)
条件:新刊書『祝福の絶対価値と神氏族的メシヤの責任完遂』
対象:全食口(個人)

4. 真の父母様 御来日50周年記念特別集会

日時:1月28日(水) 21:00
場所:浦和北教会
目的:真の父母様の御来日50周年を記念し、御来日当時の真の父母様の心情、そして母の国日本に対する天の願いをあらためて深く認識し、新たに出発する機会とする。

6. 2015年2月度清平2日修練会

週	日程	帰国日	毎週1代～210代 追加先祖解怨式
1週	【2015年2月7日(土)～2月8日(日)】	2/9(月)	霊肉界家庭出発 修練会
2週	【2015年2月13日(金)～2月14日(土)】	2/15(日)	
3週	【2015年2月21日(土)～2月22日(日)】	2/23(月)	先祖祝福式

注) 4週目の【2015年1月27日(金)～1月28日(土)】の期間、修練会はありません。

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう！



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長
司会者：田川 敏
伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 27番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	奥平昌広
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	ああ！黒石洞	
※聖	歌と献金 聖歌 67番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

定州普通学校を終えた後、住居をソウルに移した私は、黒石洞(フクソクトン)で自炊しながら京城商工実務学校に通いました。ソウルの冬はとでも寒く、零下20度まで気温が下がる事も珍しくありませんでした。そのたびに漢江(ハンガン)の水が凍ったりもしました。自炊の家は井戸が深くて十尋(ヒロ)以上もありました。紐がよく切れるので鎖をつないで使いましたが、井戸水をくみ上げる時に釣瓶(ツルベ)縄が凍って手にペタペタとくっつくので、口で息をハーハー吹きかけて水をくんだものです。

寒さ対策に、持ち前の腕を生かして編み物をよくしました。セーターもたくさん着て、厚手の靴下や帽子、手袋もすべて自分で編んで作りました。私が編んだ帽子はとでもかわいくできて、その帽子をかぶって外に出れば、みんな私を女性と思うほどでした。

しかし、真冬でも自分の部屋に火を入れたことはありません。火を入れる余裕はなかったし、極寒の中、家もなく道端で凍りついた体を温める人に比べれば、貧しくても屋根の下で横になって眠ろうとする私の立場が贅沢だと考えたからです。

～ 自叙伝 p68～



統一運動

東ティモール、文鮮明・韓鶴子総裁「鮮鶴平和賞」に10万ドル寄贈

東ティモールが12日、韓国の鮮鶴平和賞委員会に「未来の世代のための平和賞、鮮鶴平和賞」創設基金として10万ドル(約1億830万ウォン=約1160万円)を寄贈した。東ティモールのシャナナ・グスマン首相(69)が2014年8月、韓国プレスセンターで開かれた鮮鶴平和賞委員会の発足式に出席し、委員会サイドに約束したことを実践した。東ティモール政府は昨年12月19日の大統領宮閣僚会議で鮮鶴平和賞創設基金(10万ドル)の寄付案件を上程、全会一致で承認したのだ。閣僚会議は次のように決議した。「東ティモールは宗教、人種、国家と文化を超越した平和思想と平和社会・国家建設のビジョンを含む、鮮鶴平和賞の創設を非常に喜んでおり、その志を共にしようと思う。本会議は鮮鶴平和賞創設に10万ドルを寄付することを決定する。」

グスマン首相は鮮鶴平和賞委員会の発足式で「鮮鶴平和賞は、利他的な人生で、宗教、人種、国家、文化を超えて、平和な国家と世界を構築することができる本質的なメッセージを含んでおり、希望の灯として平和文化を導いていく」とし、「東ティモール政府として創設資金を支援する」と明らかにした。



2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開